

文化財石垣保存技術協議会会報

平成28年(2016) 第16号 ー平成28年度事業報告ー

第1回技能者養成研修(講義)

日時 平成28年7月16日(土)～18日(月・祝)
場所 日本城郭研究センター(兵庫県姫路市)
受講者 技能会員7名、技術・研究会員5名、一般会員3名、賛助会員1名、

研修内容

日	講習内容	講師
7/16 (土)	特別史跡肥前名護屋城跡・大名陣跡の石垣	市川 浩文 (技術・研究会員)
	『石垣整備のてびき』について	市原 富士夫 (文化庁文化財部文化財調査官)
7/17 (日)	九州の古代山城とその石積み技術 ー大野城跡の調査成果を中心に	赤司 義彦 (福岡県教育庁総務部副理事兼文化財保護課長)
	韓国城郭史の中の日本城郭 ー石垣の意義	太田 秀春 (鹿児島県国際大学教授)
	古代山城の石積み技術 ー屋嶋城の事例から	渡邊 誠 (高松市埋蔵文化財センター)
	韓国「倭城」の石垣	黒田 慶一 (技術・研究会員)
7/18 (月)	研修生討論	司会: 西川 禎亮 (技能会員)
	石垣構造の変形と地震時挙動 ー栗石の機能とその挙動ー【総会記念講演兼】	西形 達明 (関西地盤環境研究センター顧問)

会員の声

森岡 良二(技能会員:技能者養成研修(講義研修))

今回二度目の研修会に参加させて頂きました。今回参加させてもらって、いろいろ勉強させて頂きました。

古代(600年頃)韓国では、すでに花崗岩を加工し、城の城壁に使用していたことに驚きを感じました。

その後中世(1600年頃)の倭城を参考に、韓国が日本の城をまねて、自分たちの城を築いたという事を聞いて、お互い良いところをまねて、自分たちの城造りをしていたんだなあと感じました。

その他、黒田さんが発表された中で感じたことを述べさせてもらいます。城壁の角石のことです。古代より行われた角石の積み重ねのことです。自分は算木積みの方が強力的には「絶対だ」と思っていたのですが、古代から中世まで、ほとんど重ね積みだったのが意外でした。なぜ、いつ算木積みになったのでしょうか?その点が非常に気になりました。

最後になりますが、最終日に西形さんが発表された石垣構造の変形と地震時の挙動で、裏込め材として入れている栗石が、地震時にはああいう悪さをしているという事を知って驚きました。裏込め材は多い方が良いと思っていたのですが、考えさせられることでした。

今後、いろいろなことを考慮しながら、城壁改修を行っていかねばならないと考えさせられました。



研修(公開講座)の様子



研修の様子

◇平成28年度総会が開催されました

日時 平成28年7月18日（月・祝）
 場所 日本城郭研究センター大会議室（兵庫県姫路市）
 出席 評議員10名、技能会員28名、技術・研究会
 員24名、一般会員8名、賛助会員3名、事務局
 2名
 来賓 五島昌也 文化庁記念物課文化財調査官
 山下史朗 兵庫県教育委員会文化財課副課長
 兼文化財班長
 八木 優 姫路市教育委員会教育次長
 記念講演 石垣構造の変形と地震時挙動
 西形達明（関西地盤環境研究センター顧問）
 主な議事（1）役員の改選について
 （2）評議員会の推薦について
 （3）平成27年度事業報告
 （4）平成27年度決算報告
 （5）平成27年度監査報告
 （6）平成28年度事業計画
 （7）平成28年度予算案
 （8）平成27年度研修修了証書授与

証書授与者

1. 後継者育成研修（1名）

杉本 弘幸	橘造園
-------	-----

2. 技能者養成研修（6名）

奥山 聖治	橘造園
後藤 慶太	藤造園建設(株)
杉本 弘幸	橘造園
関口 佳孝	(株)宮田組石工
中西 慎也	上月工業(有)
花崎 吉宏	花崎建設(株)

■文化財石垣保存技術協議会 評議員・役員

評議員

北垣聰一郎 石川県金沢城調査研究所名所所長
 北野博司 東北芸術工科大学教授
 五味重盛 元文化財建造物保存技術協会参与
 千田嘉博 奈良大学学長
 高瀬要一 財団法人琴ノ浦温山荘園理事長
 田中哲雄 姫路市立日本城郭研究センター名誉館長
 西形達明 関西地盤環境研究センター顧問
 麓 和善 名古屋工業大学大学院教授
 三浦正幸 広島大学大学院教授
 宮武正登 国立大学法人佐賀大学全学教育機構教授

役員

会長	松本勝蔭	技能会員
副会長	會澤敏夫	技能会員
	和田行雄	技能会員
監査役	荏本 久	技能会員
	奥村信一	技術・研究会員
幹事	栗田純徳	技能会員
	上月保道	技能会員
	佐藤哲夫	技能会員
	西川禎亮	技能会員
	西田勝計	技術・研究会員
	橋本 孝	技術・研究会員
	真鍋建男	技術・研究会員
	矢野和之	技術・研究会員

オブザーバー

市川浩文	技術・研究会員
楠 寛輝	技術・研究会員
富田和氣夫	技術・研究会員
宮里 学	技術・研究会員

事務局

事務局長	村田和宏
副事務局長	多田暢久



栗田前会長の挨拶



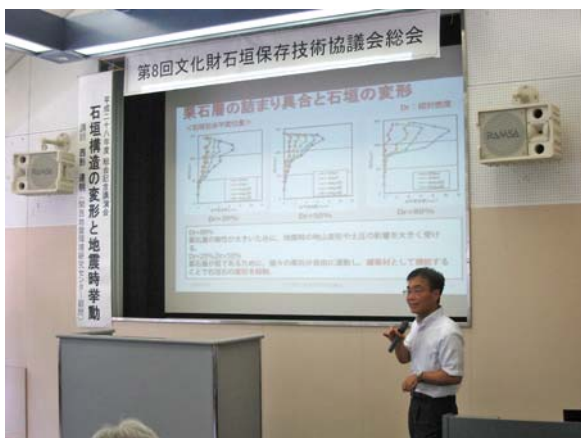
松本会長の挨拶



総会の様子



技能者研修修了者証授与式



記念講演 西形達明 氏
(関西地盤環境研究センター顧問)



情報交換会の様子

第2回技能者養成研修（実技）

日 時 平成28年9月17日（土）～19日（月・祝）

場 所 青木東男石産加工場（神奈川県真鶴町）

受講者 技能会員7名、技術・研究会員3名、一般
会員1名、賛助会員1名、
(講師6名、事務局1名)

内容 道具の製作、石割と加工、石積み等



鍛冶実習



石割実習



石積み実習



石積み実習

会員の声

峯田 喜久 (技能会員 : 技能者養成研修 (実技研修))

久しぶりに実技研修に参加させて頂きました。今回は東京の小林石材さんの諏訪さんたちが丁張を事前に準備していましたが、なんと6分勾配の丁張がありました。自分は根石の角石を担当しました。

数多くの石から、この石だ！！と思い、いざ積んでみたら全然6分勾配にならず、捨石2石をかませても大きな口を開けてしまい、かなりがっかりしてへこんでしまいました。後で水野さんにお聞きしたら、6分勾配は特殊なので、あえて研修で研修生たちに体験してもらうのが目的だったそうです。それにしても、石選びが大変だった。あとバールの使い方などいろいろ教えて頂きました。

「ノミ焼き」の菊井先生は、前回の研修の資料よりもページ数を増やし、いきなり焼きに入らず資料をもとに説明があった後に研修に入ったので、頭にずっと入った気がしましたが、やはり鉄は生き物みたいで、温度変化に対応できず大変でした。

「石割り」は、焼きの豆矢とノミを実際に使いました。岡先生も理論的な話をして下さり、質問も的確に御返答下さったので、詳しくメモが取れました。オイル焼きのノミだったので、ダメになったノミがあまり出なかったです。

今回は、作業時間が短かったので、次回は日にちを多く取って欲しいです。石積みって形があつてない物、強でもあり弱、すごく考えさせられました。

日本中の石工さんたちが頑張っているのでも、自分も頑張りたいと強く思いました。ありがとうございました。

■新規加入会員紹介 (平成28年7月18日役員会審査)

会員区分	氏 名	所 属
技能会員 ※技術・研究会員より変更	藤田 精	高尾石材㈱
技術・研究会員	有井 圭司	雄測量設計㈱
〃	出月 洋文	NPO 法人文化財保存技術ネットワーク・エアプレーン
〃	小林 光夫	雄測量設計㈱
〃	近藤 博伸	(株)浅沼組
〃	中村 明雄	雄測量設計㈱
〃	野口 尚志	(株)アコード
〃	松本 和成	松本建設㈱
〃	山岸 翔太	雄測量設計㈱
〃	山下 公一	松本建設㈱
一般会員	大場 貴文	(有)大場石材
〃	山崎 博	
賛助会員	(株)四航コンサルタント	
〃	松本建設㈱	
〃	雄測量設計㈱	

■入会手続き

入会をご希望の方は、まず事務局にご連絡ください。当協議会の入会申込書を送付いたしますので、必要事項を記入のうえ、下記の事務局へご返送ください。

役員会にて会員資格審査後、入会通知書及び会費納入の振込用紙を送付します。年会費 (4月～翌3月) をお振込いただき、事務局で正式に受理した日から本協議会会員として登録します。

■文化財石垣保存技術協議会会員数

(平成28年 6月 13日現在)

技能会員	140名
技術・研究会員	88名
一般会員	29名
賛助会員	17法人
評議員	9名
合 計	283名 (法人含む)

発行年月日 平成28(2016)年10月28日

編集・発行 文化財石垣保存技術協議会

事務局住所 〒670-0012 姫路市本町68-258

日本城郭研究センター内

TEL 079-289-4877 FAX 079-289-4890